



みんなの笑顔
思い浮かべながら

上水流町の科長神社からくり花火保存会による仕掛け花火の制作が6月24日、市内の花火工場で行われました。会員らは、祭り当日の観覧者の笑顔をおもひ浮かべながら、長さ12cmほどの竹筒に少量の火薬を入れては小づちで打ち固める、根気のいる作業を繰り返していました。



優勝を目指して
泥だらけ！

地域活性化と五穀豊穡を祈願する高崎町どろんこバレーボール祭が6月17日、高崎小学校南側の水田で開催されました。市内外から46チーム310人がエントリー。チームごとに趣向を凝らしたユニホームを身にまとい、泥だらけになりながらボールを追いかける選手の姿に、歓声と笑い声が溢れていました。



地域ボランティアの
丁寧な縫い物指導

明和小学校で6月28日、縫い物を学ぶ家庭科の授業が行われ、地域ボランティア6人がサポートしました。ボランティアが手を取って指導することで、知識と技能を習得しながら、交流も深められるこの取り組み。児童らは、ボランティアの針使いを見ながら、真剣な表情で授業に取り組んでいました。



19年ぶりの快挙！
喜びの県知事賞受賞

第63回宮崎県乾しいたけ品評会で優等と県知事賞に輝いた田中未一郎さん（山田町中霧島）が6月25日、池田市長に受賞報告をしました。田中さんは同品評会「箱物の部・香茹」に出品。都城北諸県地区からの優等受賞者は19年ぶり、田中さんは受賞の喜びやこだわりを熱く語っていました。



高齢者と児童の笑顔、
満開のひまわり

山野原地区高齢者クラブと沖水小学校児童が7月12日、同小学校横の畑に咲いた満開のひまわりを楽しみました。このひまわりは、同高齢者クラブが地域交流事業として、4月に児童らと種をまいたもの。松元尊さん（2年）は「また一緒におばあちゃんたちと育てたい」と話していました。



地域の史跡を守り、
未来へつなぐ

明治後期に造られ、NPO法人が管理する「旧持永家住宅隠居棟」と「旧持永家住宅門・石塀」が国登録有形文化財（建造物）に登録されました。7月9日には、児玉晴男教育長から同施設を所有する蒲生宏孝さん（庄内町）と庄内地区まちづくり協議会の釘村美千也会長に、登録証が手渡されました。